

協定校留学帰国報告書

記入日	2016 年 7 月 27 日
所属	人文学部人文コミュニケーション学科
学年	4 年
留学先大学	アルカラ大学(スペイン)
留学開始・終了時期	2015 年 9 月 ~ 2016 年 7 月 (留学開始時期 3 年次) (10 カ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
2 年生の夏に海外ボランティアでメキシコへ行った。その時に感じた、日本とは違う独特な空気や文化の虜になった。日本からしばらく離れて、客観的に自分の国を見てみたいと思った。また当時このまま就活に突入することへの不安を抱え、悩んでいたことも留学の決め手となった。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
英語以外の言語を学びたいと思っていたため。10 ヶ月間の留学で、専攻ではないスペイン語がどれくらい上達するのか興味があったため。
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
水戸駅近くのペルー料理屋へよく通ってスピーキングの練習をしていた。東京に行く機会があれば、メキシコ料理屋へ行ったり、大使館主催のイベントに参加したりして、ネイティブスピーカーとコミュニケーションをとっていた。
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
必修科目の単位は落とさないほうが良い。
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 () b. 個人の保険のみ (○) c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ()
⑥ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。
a. はい () 具体的に： b. いいえ (○)
⑦ この協定校に決めた理由を教えてください。
英語圏以外の留学先で一番魅力的だったから。

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。

大学の授業は履修を諦めたのであまり分からない。友人の話だと単位取得はかなり困難であるということ。語学学校 (Alcalingua) は午前の部 (9:00~13:30) と午後の部 (14:15~18:45) に分かれていて、いずれかに振り分けられる。クラス分け (A1、A2、B1.1、B1.2、B2.1、B2.2、C1) は入学前のレベル診断テストに基づく。授業内容は文法、会話、プレゼンテーションが中心。毎週金曜日は文化の授業で、映画鑑賞、フィールドワークなどを行う。一クラス 10 人前後。日本人を含め、アジア系の生徒が多い。愉快的な先生多数。

② 授業履修の際に、注意したほうが良いことがあれば、なるべく具体的に教えてください。

大学の授業については、1 年生向けの授業を履修すべき。語学学校については、午前の部がおすすめ。午後の時間が有効に使える。運悪く午後の部に振り分けられてしまっても、頼めば変えてもらえることがある。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

大学の授業に出席した時、かなり高度な英語力が必要であると感じた。スペイン語もままならないのに、英語で法律や経済の講義を聞くのはかなり苦痛であった。そのため語学学校に専念することにしたが、一向にスペイン語の上達を実感できなかった。変化の兆しが見え始めたのは 4 月。その頃になってようやく自分の言いたいことを伝えられるようになった。5 月に授業が終わった後、1 か月かけて巡礼の旅をしたが、その時には自信をもって自分から積極的にスペイン語で話せるようになっていた。

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか

アルカラは歴史ある中規模の街。街並みはとても美しい。大学近くのセルバンテス広場やカジェマジョール (メイン通り) は週末や夜になると賑わう。ホームレスや物乞いがいるが、警察が常に巡回しているので、危ない目には遭わなかった。マドリードの中心地までは電車 (バス) で 40 分。物価は日本とほぼ変わらない。野菜や果物は安い。

② 留学中はどこに住んでいましたか。

- a. 寮 () : 何人部屋でしたか (人)
- b. アパート (○) : 何人部屋でしたか (2 人)
- c. ホームステイ (○) : 何人部屋でしたか (1 人)
- d. その他 () 具体的に :

③ 住環境はどうでしたか。

9 月~2 月はホームステイ、3 月~5 月はアパート、6 月~7 月はアルベルゲ (巡礼宿) だった。ホームステイ先は快適で、スペイン語の練習が家でも出来たのは良かった。ただ、家賃が高く、また食事面に不満があった。3 月からはアメリカ人の留学生とルームシェアをした。自炊中心の生活だ

ったので生活費はかなり抑えられた。

④ 食事はどうしましたか。

- a. 大学・寮のミールプラン ()
- b. 主に外食 ()
- c. 自炊と外食が半々程度 (○)
- d. その他 () 具体的に：

⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。

アメリカ人の留学生とは一緒に住んでいたのので、一緒に勉強したり、遊びに行ったりしていた。日本語の授業を履修している現地の学生と仲良くなり、よくバルへ行っていた。週 1~2 回の頻度でストリートサッカーをしていて、南米やアフリカからの移民とも仲良くなった。

⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

クリスマス休暇や連休を利用して、いくつかのヨーロッパの国々を訪れた。6 月からは 1 か月かけて、巡礼 (カミノデサンティアゴ) をした。ピレネー山脈の麓のフランスの町から、ユーラシア大陸の最西端まで、900 km を歩き切った。

⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

マドリードをはじめ、大都市はスリが多い。派手な格好はスリの標的になるので避ける。電車の中に物乞いがいるときがあるが、無視する。大麻が蔓延しているので、勧められたら断る。テロや事件が起きたときは、すぐにインターネットで情報を入手する。

⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般 (衣食住) に関するアドバイスがあればお願いします。

食事の時間が違う。昼食は 2 時半、夕飯は 9 時半開始が一般的。昼食後はシエスタ (お昼寝タイム) なので大型スーパーを除いてほとんどの商店が閉まり、5 時頃再開する。電車やバスは、基本時間通り。同性愛者の方が多い。公衆トイレがない。24 時間営業のコンビニはないが、中国人経営の小さなお店 (Alimentación) は深夜 1 時くらいまで開いている。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

渡航費(往復の航空運賃)	11万	円
保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など)	10万	円
住居費(寮費)光熱費等含む (月額)	5万	円
食費 (月額)	3万	円
その他	100万	円
総額 (留学期間中の費用総額)	200万円以上	

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。

a. () 4年で卒業予定

b. (○) 卒業は延期する予定(延長予定期間: 1年間: 2018年3月卒業予定)

② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)

5月に DELE (スペイン語検定) B1 を受けた。就職に関しては、まだ何も調査していない。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

本当に行って良かった。アメリカ人のルームメイトと出会えたことが一番の収穫だった。彼の勉強に対する姿勢や生き方に非常に感銘を受けた。留学の締めに行った巡礼も有意義な旅となった。それまでに学んだスペイン語を駆使して道中、多くの友人ができた。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

外国語で話すのが楽しくなった。今までは話すのが恥ずかしかったし、自信もなかった。でもある程度話せるようになると、もっと話したい、極めたいという気持ちが強くなった。イタリア語やポルトガル語にも興味が出てきた。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

思い切って長期留学してほしい。短期留学だと力はつかない。帰りたくても帰れないもどかしさや、苦しみを味わうと語学力は伸びる。